

栄東げんきっ子

《中学生編》

第174号 2024.10.1 発行

<編集発行>

栄東地区まちづくり未来会議

<問合せ先>

栄東まちづくりセンター

電話 711-2203

ヒグマとエゾシカのお話

最近、道内でヒグマやエゾシカのニュースをよく耳にします。令和3年6月には、東区内の元町や丘珠で、ヒグマで4名の方が負傷する人身事故があり、私たちにとっても身近な問題と言えましょう。また、エゾシカによる道内の農業被害も令和4年には約484億円にも達しています。今号では、ヒグマやエゾシカの問題を探ってみます。

道内で約12,200頭のヒグマが生息

道内には2022年で12,200頭のヒグマが生息しています(R6.8.21 北海道ヒグマ保護管理検討会資料より)。

世界には8種類の熊がいますが、日本には北海道に生息するヒグマと本州に生息するツキノワグマの2種類に分類されます。ヒグマは、縄文時代には本州にもいたことが化石で明らかになっていますが、その後の気候の温暖化や広葉樹林に適応出来なかったことなどが原因で、本州のヒグマは絶滅したと考えられています。

ヒグマは北海道の全域に生息しています。そのうち、天塩、増毛地方および石狩西部地方の個体群は孤立して生息数が少ないため環境省のレッドリストに「絶滅のおそれのある個体群」とされていますが、ヒグマの生息数の回復が顕著なことから2025年度にも除外される見通しです。ヒグマは草食傾向が強い雑食動物で木の実(ドングリ)や野草(フキなど)を食べていましたが、近年は、ハンターが打ったエゾシカが山中で放置され、ヒグマは腐った肉でも食べるので肉の味を覚えて増えてきているのではないとも言われています。生きたエゾシカをハンティングするショッキングな姿も目撃されています。



年少人口より多い、エゾシカは73万頭

エゾシカは、北海道にのみ生息する、ニホンジカの亜種で、本州に生息するニホンジカはホンシュウジカと呼ばれます。明治初期の大雪や乱獲により一時は絶滅寸前まで生息数が減少しましたが、保護政策やハンターの減少、天敵であったエゾオオカミの絶滅、エサ場となる農地開発が進んだことなどにより個体数が急増しています。エゾシカの繁殖力は非常に高く、この30年間で倍増したと言われています。

北海道の資料(R6.8.13公表「令和5年度エゾシカの推定生息数等について」)によるとエゾシカは、約73万頭生息しています。北海道内の15歳未満の年少人口が約51万6千人ですから、1.4倍も多い数になっています。ハンターの人数は、90年代9,000人以上でしたが、2021年は6,600人まで減少し、高度な技量を持つハンターは高齢化したこともエゾシカ増加の一因と言えそうです。



自然との折り合いをどうつけていくのか

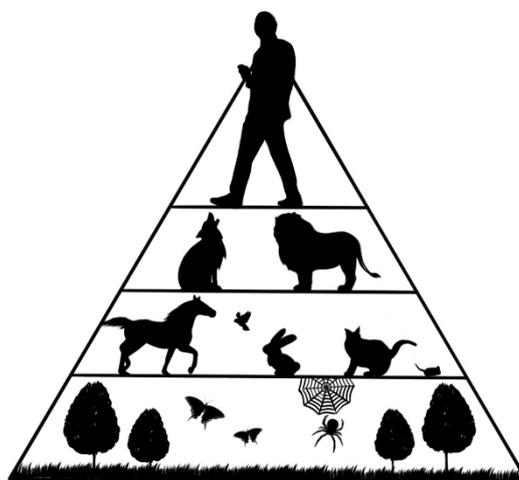
ヒグマやエゾシカは、北海道の豊かな自然の象徴です。ヒグマや急増するエゾシカを排除するだけではなく、ともに共存の途を探っていかなければなりません。

例えば、ヒグマでは、電気柵等を設けて人里への出没を防止し、登山などではごみを持ち帰り、ヒグマに人間の食べ物の味を覚えさせないなどの防止対策が必要です。北海道の山野はどこでもヒグマの生息域です。人身被害に遭わないためには、キャンプや登山、釣り、山菜取りなどに行く場合、ヒグマ出没情報を事前に把握し、単独行動は避ける、鈴や笛などで音を出しながら歩く、クマスプレーを携帯するなど、ヒグマに出会わないための注意を心がけましょう。

エゾシカは、適正な個体数を維持しつつも、有効活用する取り組みも必要です。

北海道では、「安全安心」で「美味しい」エゾシカ肉のブランド化などを進めています。エゾシカ肉の消費拡大のため、学校給食に取り入れたり、一般向けのエゾシカ料理セミナーを開催したり、その利用を促進しています。一般向けセミナーや小中高校での児童生徒等を対象としたシカ肉栄養特性等に関する出前講座や試食、エゾシカの革・角を活用したクラフト製作なども実施されています。

「食」は私たち人間と生物のつながりを最も端的に示すものです。生態系ピラミッド（右図）に表されているとおり、人間は食物連鎖によって全ての生き物とつながっています。人間は、生態系の食物連鎖の中で生き、生かされています。ヒグマもエゾシカも、その生存と私たちの生活との間で、どう折り合いをつけていくかが問われていると言えます。



10月の予定（10月10日～11月9日開催）

月日	時間	行事名	場所	対象	申込有無・参加費	問合せ先
毎週 水・金	18:00～21:00 (中学生は19:00まで)	中高生夜間開放事業 「ふりーたいむ」	ひのまる児童会館	中高校生 (登録カードが必要です)	申込なし 無料	ひのまる児童会館 752-1551
毎週 火・金	18:00～21:00 (中学生は19:00まで)		栄西児童会館			栄西児童会館 752-8363
毎週 火・木	18:00～21:00 (中学生は19:00まで)		丘珠たから児童会館			丘珠たから児童会館 784-8095
毎週 火・木	18:00～21:00 (中学生は19:00まで)		栄西小はんのき児童会館			栄西小はんのき児童会館 768-8883

児童会館中高校生夜間開放

『ふりーたいむ』

初めて利用するときは、受付で申込書を書いてもらうので

「生徒手帳」を持ってきてください。

申込書を記入すると「利用者カード」が発行されます！

※2回目からは忘れずに「利用者カード」を持ってきてね。

利用者カードを作った会館以外にも遊びに行けますよ！

※体育室の利用は上靴が必要です。

※中学校の夏・冬・春休み期間のふりーたいむはお休みです。

